

## 2020年度 (2021年3月期) 第1四半期決算について

2020年8月11日  
大阪市高速電気軌道株式会社



## 2020年度 第1四半期 決算概要

連結損益計算書 .....	P.2
事業別の状況 .....	P.3
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響額 .....	P.4
連結貸借対照表 .....	P.5
鉄道事業の運輸成績 .....	P.6
2020年度 業績予想について .....	P.7

本資料の一部は公認会計士又は監査法人の監査対象外の情報を含みます。

# 連結損益計算書 … 第1四半期

(単位：億円)

	2020年度 1Q累計実績	2019年度 1Q累計実績	増減	増減率
営業収益	271	470	△199	△42.4%
営業利益又は営業損失(△)	△62	85	△147	—
営業外収益	4	4	+0	+3.4%
営業外費用	2	2	△0	△0.3%
経常利益又は経常損失(△)	△60	88	△147	—
特別利益	1	14	△12	△89.5%
特別損失	—	13	△13	△100.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は純損失(△)	△39	58	△97	—

## 【営業収益及び営業利益】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響により、営業収益は、対前年比で199億円の減収となりましたが、昨年度、民営化により一時的に増加した不動産取得税の反動減などにより、営業利益は、対前年比で147億円の減益となりました。

# 事業別の状況（営業収益及び営業利益）… 第1四半期

(単位：億円)

		2020年度 1Q累計実績	2019年度 1Q累計実績	増減	増減率
鉄道事業	営業収益	230	406	△176	△43.4%
	営業損益	△56	68	△124	－
バス事業	営業収益	22	34	△12	△35.7%
	営業損益	△7	6	△13	－
広告事業	営業収益	8	11	△3	△27.4%
	営業利益	2	2	△1	△34.1%
流通事業	営業収益	17	31	△13	△43.3%
	営業損益	△2	7	△10	－
都市開発事業	営業収益	5	4	+1	+22.9%
	営業利益	1	1	△0	△23.5%
調整額ほか	営業収益	△11	△16	+5	－
	営業利益	1	0	+0	+127.3%
営業収益合計		271	470	△199	△42.4%
営業利益合計		△62	85	△147	－

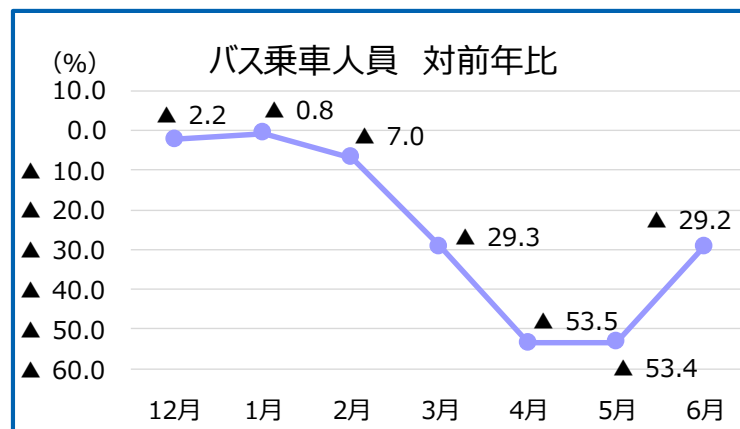
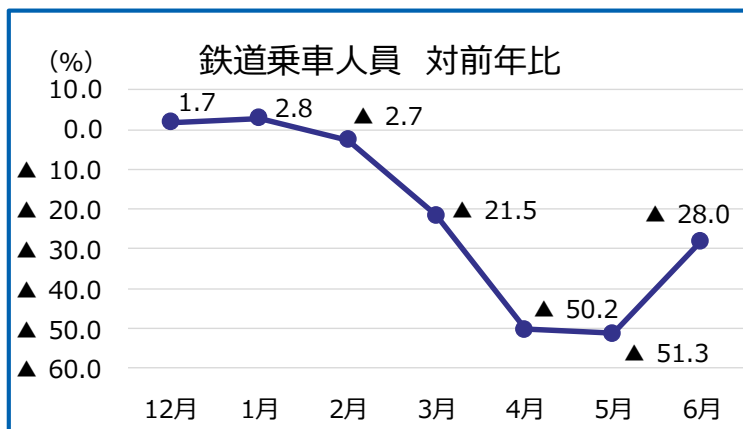
鉄道事業 : 昨年度、民営化により一時的に増加した不動産取得税の反動減や、動力費の減などの費用の減少要素はあったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響が大きく、減収減益となりました。  
 バス事業 : 新型コロナウイルスの影響や、バス運転手の人材確保に伴う人件費の増などにより、減収減益となりました。  
 広告事業 : 新型コロナウイルスの影響で、特に車内吊り等の紙媒体広告出稿が減少したことなどにより、減収減益となりました。  
 流通事業 : 緊急事態宣言期間中の地下街休業による賃貸料の減免などにより、減収減益となりました。  
 都市開発事業 : 賃貸ビル(湊町MTビル)取得による賃貸料収入の増加があったものの、開発の準備費用の増加などにより、営業利益は減益となりました。

- 1) 事業別の状況に記載の各事業別の営業収益、営業利益は、内部取引消去の配分を行っておりません
- 2) 「鉄道事業」には、コーポレートを含みます
- 3) 鉄道事業と広告事業・流通事業間の施設賃借料収入・費用を含みます
- 4) 「調整額ほか」は、グループ内受託事業および内部取引をいいます

# 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響額 … 第1四半期

(単位：億円)

		2020年度 1Q累計実績	主な状況
鉄道事業	営業収益	△179	乗車人員の減少に伴う減収(対前年比：△104百万人)
	営業利益	△179	減収に伴う減益
バス事業	営業収益	△12	乗車人員の減少に伴う減収(対前年比：△8百万人)
	営業利益	△12	減収に伴う減益
広告事業	営業収益	△4	主として、車内吊り等の紙媒体広告出稿の減少に伴う減収
	営業利益	△1	減収に付随するコストの減少によりマイナス幅が圧縮
流通事業	営業収益	△11	賃貸料の減免による減収
	営業利益	△8	減収に付随するコストの減少によりマイナス幅が圧縮
その他事業	営業収益	△0	
	営業利益	△0	
営業収益合計		△206	
営業利益合計		△200	



# 連結貸借対照表 … 第1四半期

(単位：億円)

	2020年度 1Q末	2019年度末	増減	増減要因
<b>資産</b>	<b>10,419</b>	<b>9,823</b>	<b>+596</b>	
<b>流動資産</b>	<b>1,203</b>	<b>536</b>	<b>+667</b>	現金及び預金の増 695 未収運賃の減 △17
<b>固定資産</b>	<b>9,217</b>	<b>9,287</b>	<b>△70</b>	構築物の減 △45 投資有価証券の減 △25
<b>負債</b>	<b>5,179</b>	<b>4,461</b>	<b>+719</b>	
<b>流動負債</b>	<b>3,333</b>	<b>2,601</b>	<b>+732</b>	短期借入金を増 +1,460 コマーシャル・ペーパーの減 △500 未払金の減 △171
<b>固定負債</b>	<b>1,846</b>	<b>1,859</b>	<b>△13</b>	
<b>純資産</b>	<b>5,240</b>	<b>5,362</b>	<b>△122</b>	利益剰余金の減 △103 親会社株主に帰属する四半期純損失 △39 支払配当 △65 その他有価証券評価差額金の減 △17

# 鉄道事業の運輸成績 … 第1四半期

(単位：億円、千人)

		2020年度 1Q累計実績	2019年度 1Q累計実績	増減	増減率
運輸収入	定期	77	95	△18	△18.7%
	定期外	139	296	△157	△53.0%
	合計	216	391	△175	△44.7%
乗車人員	定期	61,208	79,281	△18,073	△22.8%
	定期外	74,329	159,194	△84,865	△53.3%
	合計	135,537	238,475	△102,938	△43.2%

## 2020年度 業績予想について

---

2020年度の業績予想につきましては、現時点において、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が不明な状態が続いている中で、当社グループの業績に与える影響を予測することが非常に困難な状況にあることから、「未定」とさせていただきます。

なお、今後の状況の変化により合理的な算出が可能となったタイミングで、速やかに公表いたします。





**Osaka Metro  
Group**